The 31st Regular Concert

第31回 定期演奏会

楽友三田会合唱団

Musikfreunde Mita Chor

2025. 11. 9（日） 14：00 開演

第一生命ホール

「死者の贈り物Ⅱ」

モーツァルト「魔笛」混声合唱編曲版

ごあいさつ

本日は楽友三田会合唱団第31回定期演奏会にお越しいただき、ありがとうございました。

私たちは慶應義塾「楽友会」で青春時代を過ごした仲間が再び集まって歌っている合唱団です。高校、大学を通じた混声合唱活動では大楽聖の残した名曲に取り組み、定期演奏会のメインステージにはオーケストラ伴奏による宗教曲を据えてきました。

今年の２月にはコロナ禍で順延になっていた「楽友会70周年記念演奏会」を、モーツァルトの『レクイエム』をメインとして、サントリーホールにて挙行しました。「楽友」の裾野が広がってきた中で、若い年代の参加も得ながら合唱生活を楽しんでおります。

第一部は長田弘作詩、新実徳英作曲による「混声合唱とピアノのための『死者の贈り物Ⅱ』」をお贈りします。指揮者は新進気鋭の伊藤心さんです。伊藤さんは楽友会OGで理工学部大学院から東京藝術大学に転進し、現在は指揮科に在籍中。今年４月に行われた「第９回若い指揮者のための合唱指揮コンクール本選」で見事１位に輝きました。作詩者・長田弘の、今をより良く、より美しく、より深く生きるための、静かで美しい珠玉の言葉との出会いを含め、若い感性とのぶつかり合いは、頑（かたく）なになりがちな私たち中高年世代にとって新鮮な刺激になりました。

第二部は、なんとモーツァルトのオペラ『魔笛』を混声合唱とピアノのための演奏会形式で取り上げます。オペラの翻案・訳詞・編曲は、こちらも楽友会OGで東京藝術大学楽理科にも進まれた谷口佳子さんの手になるものです。パミーナ役にはソプラノの鷲尾麻衣さん、タミーノ役にはテノールの友清大樹さんを、さらに伊藤心さんにはフルート、ナレーションは齋藤裕子さんにお願いしております。また団内の声自慢がパパゲーノ、ザラストロ、弁者の僧の役で登場するほか、夜の女王、三人の侍女、神殿の荒くれ奴隷などとしても出演いたします。まさにこれぞ手作りという『魔笛』をお届けいたします。指揮は団内指揮者の谷口明彦が務めます。

第一部、第二部ともにピアノ伴奏は田中理恵さんです。

秋桜の咲く午後のひと時をどうぞお楽しみください。

楽友三田会合唱団
代表　佐良土 雅文

Musikfreunde Mita Chor

The 30th Regular concert 2024. 6. 16「Broadway Golden Days Hit Parades」

Program

1st Stage

長田 弘　作詩／新実徳英　作曲

混声合唱とピアノのための「死者の贈り物Ⅱ」

1．魂というものがあるなら
2．その人のように
3．砂漠の夜の祈り
4．夜の森の道
5．アメイジング・ツリー

指　揮　伊　藤　　心　　ピアノ　田　中　理　恵

休　憩

2nd Stage

W.A.モーツァルト　作曲／翻案・訳詞・編曲：谷口佳子

混声合唱とピアノのための演奏会形式による
オペラ「魔笛」K.620

第１曲：導入
第２曲：パパゲーノ
第３曲：タミーノ
第４曲：フムフムフム
第５曲：恋を知る者は
第６曲：魔笛の調べ
第７曲：ザラストロ
第８曲：夜の女王
第９曲：恋人か女房が
第10曲：パミーナ
第11曲：火と水の試練
第12曲：パパパ
第13曲：終曲

指　揮　谷　口　明　彦　　ピ　ア　ノ　田　中　理　恵
ソプラノ　鷲　尾　麻　衣　　フルート　伊　藤　　心
テノール　友　清　大　樹　　ナレーション　齋　藤　裕　子

1st Stage　長田 弘　作詩／新実徳英　作曲

混声合唱とピアノのための「死者の贈り物Ⅱ」

Program Note

この作品は、無伴奏混声合唱による《死者の贈り物》に続く、同名の詩集の言葉をもとにした第二弾にあたります。

詩人・長田弘氏は詩集のあとがきで「現に生きてあるものにとっての現在というのは、先者にとっての未来だ。それだからこそ、親しいものの喪から、わたしが受けとってきたものは、人の現在をよりふかく、よく生きるためのことばだったと思える。」と記しています。新実徳英氏は作曲に寄せて「そして僕は想った。『旅』はいつでも終わる、ひょいと終わる。ならば、どんな風に旅するのか、それが生き方というものだ」と述べています。

長田氏が紡いだ言葉と、新実氏が与えた音楽は、生と死を静かに見つめながらも、人の歩みを肯定し、希望と救いを示しているように思えます。生きること、死ぬことと向き合うのは決して簡単ではなく、誰しもが生涯を通じて問い続けるテーマです。

今回、楽友三田会合唱団の皆さんと共にこの作品を練習するなかで、私は多くの気づきを得ました。20代の私と、人生の大先輩である合唱団員の皆さんで、それぞれが今思うことを等身大で歌い上げます。５曲を聴き終えたあと、皆さまの心にどのような想いが残るでしょうか。ひとつでも何かが心に灯れば幸いです。

（伊藤 心）

詩

1．魂というものがあるなら

言い切る、言い切れることは。
思い切る、思い切れるものは。
使い切る、使えることばは。
とことん無くし切る、無くせるものは。
それでもなお、その後に
のこってゆく、ごく僅かなもの。
はっきりと感じている。けれども、
はっきりと表すことのできないもの。
きっと、無言でしかあらわせない、
とても微かなもの。
冬の木漏れ日のような、
ある種の、静けさのようなもの。
もしも、魂というものがあるなら、
その、何もないくらい、小さなものが、
そうなんじゃないか。そう言って、
きみはわらって、還ってゆくように逝った。
正しかったか、間違いだったか、
それが、人生の秤だとは思わない。
一生を費い切って、きみは後悔しなかった。
そしてこの世には、何も遺さなかった。

2．その人のように

川があった。
ことばの川だ。
その水を汲んで、
その人は顔をあらった。

草があった。
ことばの草だ。
その草を刈って、
その人は干し草をつくった。

この世界は、
ことばでできている。
そのことばは、
憂愁でできている。

希望をたやすく語らない。
それがその人の希望の持ち方だ。

木があった。
ことばの木だ。
その木の影のなかに、
その人は静かに立っていた。

3．砂漠の夜の祈り

遠くまでひろがる
砂の海の上を、
歌う者が移っていった。
砂の海の砂の粒は
すべて一つ一つ、光の粒だ。
太陽をたたえよ、と
歌う者は言った。
毎朝、太陽は
仔牛として生まれる。
真昼には牡牛に生長し、
日が暮れると死んでゆく。
そして翌朝ふたたび、
新しい仔牛として
太陽は生まれてくる。
すべての生けるものは、
自分自身の死を知る
太陽の涙から生まれた、と
歌う者は言った。
涙と人間とはおなじなのだ、
砂漠の国の言い伝えでは。

4．夜の森の道

夜がきたら、森へゆく。
手に何も持たず、一人で、
感覚を、いっぱいにひらいて。
歌を、うたってはいけない。
ことばを、口にしてはいけない。
日の数で、数えてはいけない。
人生は、夜の数で数えるのだ。
あらゆる気配が、押しよせてくる。
ゆっくりと、見えないものが見えてくる。
森の中で、アオバズクが目を光らせて、
櫟の朽ち木に群がるオオクワガタを噛み殺す、
夏の夜。物語の長さだけ長い、冬の夜。
夜の青さのなかに、いのちあるものらの影が
黒い闇をつくって、浮かんでいる。
ものみなすべては、影だ。
遠くのあちこちで、点々と、
あかあかと燃えあがっている火が見える。
あれは、人のかたちに編んだ
木の枝の籠に、睡っている人を詰め、
その魂に火をつけて、燃やしているのだ。
信じないかもしれないが、ほんとうだ。
ひとの、人生とよばれるのは、
夜の火に、ひっそりとつつまれて、
そうやって、息を絶つまでの、
「私」という、神の小さな生き物の、
胸さわぐ、僅かばかりの、時間のことだ。
神は、ひとをまっすぐにつくったが、
ひとは、複雑な考え方をしたがるのだ。
切っ先のように、ひとの、
存在に突きつけられている、
不思議な空しさ。
何のためでもなく、
ただ、消え失せるためだ。
ひとは生きて、存在しなかったように消え失せる。
あたかもこの世に生まれでなかったように。

5．アメイジング・ツリー

おおきな樹があった。樹は、
雨の子どもだ。父は日光だった。
樹は、葉をつけ、花をつけ、実をつけた。
樹上には空が、樹下には静かな影があった。
樹は、話すことができた。話せるのは
沈黙のことばだ。そのことばは、
太い幹と、春秋でできていて、
無数の小枝と、星霜でできていた。
樹はどこへもゆかない。どんな時代も
そこにいる。そこに樹があれば、そこに
水があり、笑い声と、あたたかな闇がある。
突風が走ってきて、去っていった。
綿雲がちかづいてきて、去っていった。
夕日が樹に、矢のように突き刺さった。
鳥たちがかえってくると、夜が深くなった。
そして朝、一日が永遠のようにはじまるのだ。
象と水牛がやってきて、去っていった。
悲しい人たちがやってきて、去っていった。
この世で、人はほんの短い時間を、
土の上で過ごすだけにすぎない。
仕事して、愛して、眠って、
ひょいと、ある日、姿を消すのだ、
人は、おおきな樹のなかに。

JASRAC 許諾 第60-1581号

Profile

伊藤 心　*Cocoro ITO*

「死者の贈り物Ⅱ」指揮・「魔笛」フルート

慶應義塾大学理工学部卒業。現在、東京藝術大学音楽学部指揮科に在学中。これまでに指揮を現田茂夫、山下一史、下野竜也、宮松重紀、横山奏の各氏に師事。

Tokyo Cantat 2025「第 9 回 若い指揮者のための合唱指揮コンクール」にて優勝。併せてロマン派・近現代課題賞、オーディエンス賞を受賞。

田中信昭合唱指揮マスタークラス2019受講生。2023年にアーノルト・シェーンベルクコーアのオーストリアシュタインツ教会での公演に出演。同年のクレムス国際アカデミーにてエルヴィン・オルトナー氏、ボミ・キム氏のマスタークラスを受講。The Sixteen マスタークラスにてハリー・クリストファーズ氏に学ぶ。

新国立劇場バレエ団2025 / 2026シーズン「くるみ割り人形〈新制作〉」にて副指揮者。2025年10月より東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団指揮研究員。武蔵野音楽大学附属高等学校講師（合唱）。

田中 理恵　*Rie TANAKA*

ピアノ

国立音楽大学器楽学科ピアノ専攻卒業。オクタヴィアレコード（TRITON）よりストラヴィンスキー『火の鳥』ピアノ独奏 CD をリリース。2018年ノアンフェスティバルショパン in ジャパンピアノコンクール A3-プロフェショナル部門 1 位、ベヒシュタインサロン賞。2020年サントリーホール大ホールにて、ショパンピアノコンチェルト 1 番、2 番を演奏。2023年ノアンフェスティバルショパン in ジャパンピアノコンクール A3-プロフェショナル部門 1 位、特別賞ショパンナイト賞受賞。2024年フランス・アルス城にて、ショパンナイトに出演。2018年より毎年、年に数回のリサイタルを行う。演奏活動の傍ら、後進の指導にも力を注いでいる。楽友三田会合唱団、男声合唱団『羅漢』ピアニスト。
https://www.inopia.jp http://rietanaka.net/

友清 大樹　*Taiki TOMOKIYO*

テノール／「魔笛」タミーノ役

埼玉県立熊谷高等学校、東京藝術大学音楽学部声楽科を経て、同大学大学院音楽研究科修士課程声楽専攻修了。2019-20年度国際ロータリー第2570地区補助金奨学生としてイタリア・パルマへ留学。第 7 回東京国際声楽コンクール新進声楽家部門奨励賞受賞。第373回藝大合唱定期 M. ハイドン《レクイエム》、《第九》等にテノールソリストとして出演。これまで声楽家としてオペラやコンサートに出演すると同時に、テレビ等メディアやイベントにコーラスとして参加する他、合唱指揮を務める。洗足学園音楽大学演奏補助員。女声合唱団ヴェネーレ、東松山市民コーラス指揮者。

鷲尾 麻衣　*Mai WASHIO*

ソプラノ／「魔笛」パミーナ役

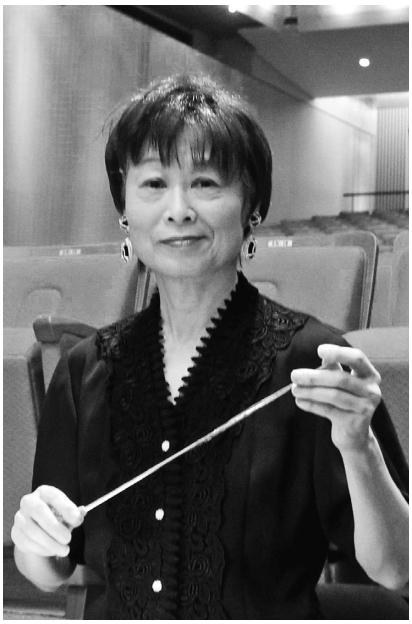
東京藝術大学卒業。新国立劇場オペラ研修所修了。文化庁派遣芸術家研修員及びローム特別研究生として、ニューヨーク・ロンドンで研鑽を積む。ハンターカレッジ『安寿と厨子王』ではニューヨークタイムズ紙に絶賛された他、カーネギーホール・オーケストラコンサートソリストに抜擢される。セントアンドリュース国際コンクール優勝等、国内外での入賞多数。

新国立劇場『ドン・ジョヴァンニ』『魔笛』、小澤征爾音楽塾『こうもり』、東京フィル定期バッティストーニ指揮・オペラ『イリス』等に出演のほか、池辺晋一郎作曲『秩父晩鐘』、新実徳英作曲『横笛の恋』など現代の作曲家作品にも出演している。また佐渡裕指揮『サントリー１万人の第九』ソプラノソロ、テレビ朝日『題名のない音楽会』など多方面で活躍。オクタヴィアレコードより『MAI WORLD』をリリース。昨年は自身初のリサイタルを開催。楽友三田会合唱団の定期演奏会での共演は今年で３回目となる。2026年は大田区でのオペレッタ『チャールダーシュの女王』にシルヴァ役で主演予定など、活動の幅を広げ続けている。

齋藤 裕子　*Yuko SAITO*

「魔笛」ナレーション・パパゲーナ役

埼玉県出身、熊谷市在住。公共図書館職員として朗読会やおはなし会を担当後、地元コミュニティーラジオ局のオーディションに合格。現在は市民パーソナリティーとして活動する他、混声合唱団ラ・フォンターナ、ちちぶオペラにて影アナウンスやナレーションを担当。「『聴いて欲しい音がある』～千の音色でつなぐ絆～TSUNAMI ヴァイオリンコンサート in 寄居」朗読出演、めいわの杜「『祈り灯 inoribi』2025～この森に祈りの灯がともる夜～」MC。本公演が初めての客演である。



谷口 佳子　*Yoshiko TANIGUCHI*

「魔笛」　翻案・訳詞・編曲

東京都出身。慶應義塾大学史学科及び東京藝術大学楽理科卒業。作曲を遠藤雅夫、音楽学を服部幸三、ピアノを岩本みどり、秦はるひ、声楽を加賀清孝、マリンバを高橋美智子、ドラムスを藤井修の各氏に師事。慶應在学中は混声合唱団楽友会で団内ピアニストとして小林亜星作曲「青春讃歌」の初演を務めた。また藝大ではバッハカンタータクラブに所属し、小林道夫氏の薫陶を受けた。これまで合唱指導、ピアノ伴奏、器楽アンサンブル等の演奏活動を行うかたわら、合唱や器楽合奏の編曲、コンサートのプロデュース、音楽に関する著作等を数多く手がける。

主な編曲作品として、歌曲集「美しき水車小屋の娘」「ベッリーニ歌曲集」「シューマン歌曲集」「イタリア古典歌曲集」、オペレッタ「メリーウィドー」「学生王子」、オペラ「魔笛」、情熱大陸（小学生用合奏）等。著書にピアノ曲集「スーパークラシックセレクション」、ミュージックベル曲集「たのしいひびき」「ファンタスティックベル」、女声合唱曲集「魂の歌 ゴスペルソング集」「好きな歌を歌いたい～J・POP」「サウンドトラックを歌う」（いずれもサーベル社）他多数。現在、ミュージカルを歌う混声合唱団ラ・フォンターナ、女声合唱団ファニーメイツ、ミュージックベルグループ「クローバー」「カラーズ」「エメラルド」を指導。

2nd Stage

作曲：W. A. モーツァルト　　翻案・訳詞・編曲：谷口佳子

混声合唱とピアノのための演奏会形式によるオペラ

Die Zauberflöte「魔笛」K.620

第１曲：導入
第２曲：パパゲーノ
第３曲：タミーノ
第４曲：フムフムフム
第５曲：恋を知る者は
第６曲：魔笛の調べ
第７曲：ザラストロ
第８曲：夜の女王
第９曲：恋人か女房が
第10曲：パミーナ
第11曲：火と水の試練
第12曲：パパパ
第13曲：終曲

Program Note

◆モーツァルトの最後のオペラ

ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト（1756～1791）は、幼い頃から比類なき天賦の才を発揮しました。25歳で生地ザルツブルクの宮廷音楽家を辞めてウィーンに出てフリーランスとなり、死去するまでの10年で書いた曲は300曲弱。しかも大曲が多いことを思えば、いかに精力的に創作していたかが分かります。モーツァルトの最晩年に書かれた二大傑作が、このオペラ「魔笛」(K.620）と未完の絶筆となった「レクイエム」(K.626）です。

1791年の４月半ば、モーツァルトにドイツ語のオペラ「魔笛」の作曲依頼が来ました。依頼主は友人のシカネーダー（俳優で興行主・台本作家)。モーツァルトは承諾し、７月にはほぼ完成状態でしたが、プラハの宮廷から戴冠式用の祝典オペラという急ぎの注文が舞い込んだため中断。さらにその頃「レクイエム」の作曲依頼も受けています。

強行日程でプラハからウィーンに戻って仕上げた「魔笛」の初演は９月30日、シカネーダーが経営する劇場で行われました。シカネーダーがパパゲーノを演じ、モーツァルト自身が指揮をしました（映画『アマデウス』でもこのシーンが登場)。錯綜した筋書きにもかかわらず、「魔笛」はその音楽の美しさで聴衆を魅了し大ヒット。およそ２ヵ月後の12月５日に35歳でモーツァルトは死去しました。彼が遺した宝物のようなオペラは、今も世界中で愛され、上演され続けています。

◆メルヘンの世界で、争いや差別のないユートピアを描く

「魔笛」はメルヘンの世界の物語。ややストーリーにつじつまの合わない箇所がありますが、これはモーツァルトと台本作家のシカネーダーの二人が秘密結社「フリーメーソン」の会員で、その教義が作品に盛り込まれているためです。

しかし、基本的にはメルヘンのやさしい世界の中で、キラキラと輝くようなモーツァルトの極上の音楽が繰り広げられます。物語で描かれている“争いや差別のないユートピア”は、今日なお求められている「調和のとれた世界」への永遠のメッセージと言えるでしょう。人々を分断する言動を憂慮する現在だからこそ切実に感じます。

（文責：MMC）

※参考文献：中野雄『モーツァルト 天才の秘密』文春新書487

「フリーメーソン」とは

秘密結社「フリーメーソン」とは“自由な石工”という意味。16世紀初頭にイギリスで誕生した『人道主義』を中心とする思想団体です。その思想がヨーロッパに渡り、フランスではやがて革命の思想的背景になりました。フランス革命（1789年～）のスローガン『自由・博愛・平等』は、フリーメーソンの理念とも言われています。

フリーメーソンは、その実態が把握困難なために陰謀団体という説まで出ました。しかし、「フリーメーソン憲章」では『真実で善良な人間になること』が要求されています。活動は地域によって差がありますが、ドイツ・オーストリアでは中・上流階級の親睦と精神修養の場、アメリカでは慈善団体という色合いが強いようです。モーツァルトは1784年にウィーンで、この団体の≪善行≫という分団に加盟しています。

『魔笛』は、苦難の克服と神に近き者を目指す修行というフリーメーソンの思想と信条を、台本と音楽で象徴した作品。また、この団体では『3』が“神秘の数”とされますが、変ホ長調（♭が３つ）という調、３人の侍女や３人の童子、神殿の３つの門等々、さまざまな形で用いられています。

あらすじ

★王子タミーノが大蛇に襲われ、夜の女王に仕える３人の侍女に助けられる。夜の女王の娘パミーナが悪者ザラストロに捕らえられていると聞いたタミーノは、彼女の救出を決意。身を守るためタミーノは魔法の笛を、お供をするパパゲーノは魔法の鈴を与えられ、ザラストロの神殿へ向かう。ザラストロの神殿でパパゲーノはパミーナを見つけ、タミーノが助けに来ると伝える。喜ぶパミーナ。タミーノは神殿の門で、ザラストロは暴君ではなく賢人で、邪悪な夜の女王からパミーナをかくまっているのだと、僧に教えられる。そしてザラストロが登場。タミーノは神殿に招き入れられる。

★タミーノとパパゲーノはザラストロの神殿で試練を受ける。一方、パミーナのもとには夜の女王が現れ、ザラストロを殺せと命じて短剣を渡す。悩むパミーナに、ザラストロは復讐より愛が大切だと説く。タミーノとパパゲーノの最初の試練は「沈黙」。タミーノの態度（沈黙）にパミーナは絶望するが、それは誤解だと教えられる。タミーノとパミーナは再会し、最後の「火」と「水」の試練を２人で乗り越える。女房がほしいとぼやくパパゲーノは試練などお構いなしだが、努力は認められ、伴侶のパパゲーナと出会う。夜の女王は滅び、ザラストロ、タミーノ、パミーナたちは神を讃える。

作品に寄せて

翻案・訳詞・編曲：谷口佳子

「魔笛」は私がオペラにのめり込むきっかけとなった作品で、楽譜を見ながら当時のオープンリールのテープレコーダーで何度も聴いて、本当にテープを擦り切ったほどの思い出のある作品です。

次々と繰り広げられる不思議な世界の出来事、愛や善悪を象徴する美しい旋律、そしてアンサンブルの妙は聴く人の心を捉えて離しません。

今回は、中でも最も有名な曲の一つでもある夜の女王のアリアを合唱にしてみました。

この混声合唱編曲版「魔笛」をきっかけに魔笛ファンが増えることを願っています。

（楽譜あとがきより引用）

演奏に寄せて

指揮：谷口明彦（楽友三田会合唱団・団内指揮者）

「魔笛」のメルヘン物語で示されるテーマは「愛」と「善」の勝利。「愛」は、高貴な愛（タミーノとパミーナ）と世俗の愛（パパゲーノとパパゲーナ）。「善悪」は高徳な聖者ザラストロと邪悪な夜の女王が対比されています。

本日のステージでは客演ソリストの鷲尾さんと友清さん、ナレーションの齋藤さんに加えて、合唱団メンバーもソロやパフォーマンスに参加し、オペラらしい活き活きした三次元の表現に挑戦しました。フリーメーソンの理念である「友愛と平和」のシンボルカラー（赤青黄）のビジュアル演出もプラス。モーツァルトの人気オペラを眼でも耳でも楽しんでいただきたいと思います。

「魔笛」のオリジナルは２幕構成ですが、合唱編曲版はコラージュされた通しで演奏いたします。

「魔笛」混声合唱編曲版

出演キャスト

♡王子タミーノ：友清大樹（テノール）
♡パミーナ：鷲尾麻衣（ソプラノ）
❖ナレーション＆パパゲーナ：齋藤裕子

＜合唱：楽友三田会合唱団＞
ソロ／パパゲーノ：鈴木淑博（バリトン）
ザラストロ：辻井 渉（バス）
弁 者 の 僧：沢田高志（バリトン）

♧衣装コーディネート：草野千代子

♬フルート：伊藤 心
♬ピ ア ノ：田中理恵

パフォーマンス／夜の女王：林みつえ
３人の侍女：小西みはる，加藤友子，水野宏美
神殿の奴隷たち：池田 進（奴隷頭），菅 泰雄，
八ツ井光二，小西雅臣

第１曲：INTRODUCTION（導入）

合唱、**タミーノ**、女王の侍女

山の中、大蛇に追われた王子タミーノが逃げてくる。手持ちの矢は尽き「もはや、これまで」と気絶してしまう。そこに夜の女王に仕える３人の侍女が現れ、大蛇を殺して凱歌をあげる。タミーノの凛々しさと気高さに魅了された侍女たちは「この若者を女王さまにご紹介しましょう」と、ことの顛末を報告に行く。

第２曲：パパゲーノ

合唱、**パパゲーノ**

鳥刺しをして暮らす独り者のパパゲーノが現れ、「鳥を捕るのと同じように娘も捕りたいな」と歌う。おりしも意識が回復したタミーノに、捕らえた鳥は夜の女王に献上して、代わりに食べ物をもらっていることなどを話す。そして調子に乗ったあげく、タミーノを助けたのは自分だと嘘をつく。

第３曲：タミーノ

合唱、**タミーノ**、パパゲーノ、女王の侍女

侍女たちが戻り、嘘をついたパパゲーノの口に錠をかけてしまう。そして夜の女王から預かったパミーナの絵姿をタミーノに見せる。タミーノは彼女の美しさに一目惚れしてしまい、「この胸に抱きしめて、永遠の愛を誓い合いたい」と熱い思いを歌う。

第４曲：フムフムフム

合唱、タミーノ、パパゲーノ

夜の女王は、娘パミーナが悪者ザラストロに捕らえられているので、救出してくれるようタミーノに頼む。侍女たちはパパゲーノの口の錠を外して自由にし、嘘は二度とダメと諭して、「世界の嘘つきがそろってこれ（口の錠）をはめたら、中傷や悪口がなくなって、いたわりの心に（なる）」と歌う。そして、パパゲーノにタミーノのお供をしてザラストロの神殿に向かうよう命ずる。タミーノには魔法の笛、パパゲーノには魔法の鈴が与えられる。

第５曲：恋を知る者は

合唱、パミーナ、パパゲーノ

タミーノと別れたパパゲーノは、ひと足先に神殿でパミーナを見つける。絵姿を見て一目惚れした王子タミーノが助けに来ると伝えると、喜ぶパミーナ。「愛を感じる人は美しい心を持っている。愛すれば悲しみははるかに消え去り、苦しみは甘く変わる。男と女は尊いもの」と、愛の喜びを歌う。

第６曲：魔笛の調べ

合唱、タミーノ、弁者の僧、フルート

３人の童子が「この道は君を希望へと導く。教えを守り、男らしく進めよ」とタミーノを励ます。森の中のザラストロの神殿に着いたタミーノ。だが、神殿の３つの門の左右には拒まれ、残る中央の門から弁者の僧が出てきて、タミーノと問答をする。
僧は、“真実はザラストロが高徳の聖者で、夜の女王が悪徳の夜叉であること、そして与えられた試練を乗り越えた者だけが聖なる神殿に導かれてパミーナと結ばれる” ことをタミーノに教える。残されたタミーノは、釈然としないながらも、僧の示唆に感じ入って魔法の笛を吹く。
神殿の中にいたパパゲーノは、その笛の調べに気づいて応え、パミーナを連れて逃げ出す。が、神殿の荒くれ奴隷たちに見つかり追いかけられる。危機一髪の時、パパゲーノが魔法の鈴を鳴らす。すると不思議にも、追っ手たちは楽しそうに踊りながらどこかへ行ってしまう。そしてザラストロが登場。タミーノは神殿に招き入れられる。

第７曲：ザラストロ

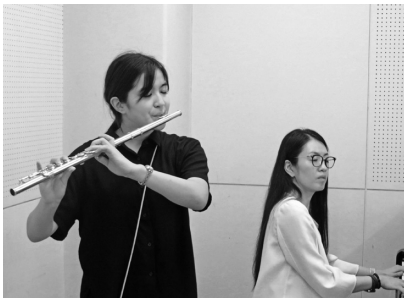
合唱、ザラストロ

タミーノには「沈黙」の行が課せられることになった。神殿でザラストロは、与えられた試練に向かうタミーノのために、イージスとオジリスの神に祈りを捧げる。
ザラストロは語った。「神はパミーナを王子タミーノの妻に定められた。だが、夜の女王のもとにいては彼女は悪に染められてしまうだろう。だから私は彼女を、ここにかくまった。あの母親は、偽りで人を惑わし、この神殿をも滅ぼすつもりだ。断じてそうはさせない。神よ、彼らに英知と勇気を与え給え。」

第８曲：夜の女王

合唱、夜の女王

パミーナのもとに、夜の女王が現れる。「すべての絆は打ち砕かれた。母娘の絆さえもだ！ 私の心には地獄の復讐の火が燃えたぎっている！」と嘆き、怒る。女王は、ザラストロを殺すようにと、パミーナに短剣を渡す。



第９曲：恋人か女房が

合唱、パパゲーノ

試練を受けているタミーノを探しているパパゲーノは、神殿の扉の前で僧侶に咎められ、駄々をこねる。ぶどう酒を与えられてほろ酔い気分のパパゲーノは「かわいい彼女か優しい女房を、神様、お与えください」と、愛する人が欲しいと歌う。

第10曲：パミーナ

合唱、パミーナ

母親である夜の女王とザラストロの間で板挟みになり、苦しむパミーナ。そのうえ、タミーノが沈黙の行を課せられていて話せないのを、もう愛は終わってしまったのだと思い絶望する。しかし、それは誤解であり、タミーノの行が終わりに近いことを、３人の童子から教えられる。童子たちは「彼は今も強く君を愛している。神がふたりを守り、幸せが待つ」と歌い、パミーナは希望を持つ。

第11曲：火と水の試練

合唱、タミーノ、パミーナ、フルート

再会し、一緒に行ってもよい、話してもよいと許しを得て、タミーノとパミーナは最後の「火」と「水」の試練を受ける。ふたりは愛の力と魔法の笛に守られて、激しく燃える火の中も渦巻く水の中もくぐり抜けた。試練を乗り越えて勝利したタミーノとパミーナは神殿に迎え入れられ、皆から祝福を受ける。

第12曲：パパパ

合唱、パパゲーノ、パパゲーナ

パパゲーノは自分だけ幸せから置いてきぼりだと悲観し、首をくくろうとしている。が、「鈴を鳴らしてごらん」という声で魔法の鈴を鳴らすと、ついに理想の相手パパゲーナが現れる。愛する人を得たパパゲーノは、パパゲーナと歌い踊り、幸せな暮らしを夢みる。

第13曲：FINALE　（終曲）

合唱

夜の女王は雷に打ちのめされ、夜の闇は滅びた。「強き心と美しい愛に祝福を！ 神は正しく清い魂を守る。光に栄えあれ！」光と叡智の勝利を讃えて、物語はフィナーレとなる。

演奏会の歩み

◆ 第1回定期演奏会　1982. 3. 22　石橋メモリアルホール

G. F. Händel「Dettingen Te Deum」より No. 11 No. 12 No. 13　指揮：岡田忠彦　オルガン：内藤弘子
J. S. Bach「Motette für fünfstimmigen gemischTen. Chor」　指揮：伴有雄　オルガン：内藤弘子
F. Schubert「シューベルト四重唱」より　指揮：小瀧泰　ピアノ：細田秀一
高野喜久雄作詞／髙田三郎作曲　混声合唱組曲「ひたすらな道」　指揮：中野伸朗　ピアノ：北村直子
信時潔作曲「信時潔合唱曲集」より　指揮：伴有雄　ピアノ：筑紫まり子

◆ 第2回定期演奏会　1984. 3. 25　石橋メモリアルホール

J. S. Bach「Kantate Nr. 45」より　指揮：伴有雄　ピアノ：筑紫まり子
Heinrich Schütz「Magnificat」　指揮：平賀一久
J. Brahms「運命の歌」　指揮：伴有雄　ピアノ：筑紫まり子
「ドイツポピュラー小曲集」　指揮：伴有雄　ピアノ：筑紫まり子
佐々木逸郎作詞／柳田孝義作曲　混声合唱組曲「北の河」　指揮：山本実　ピアノ：小川弥生

◆ 第3回定期演奏会　1991. 2. 24　芝ＡＢＣホール

J. S. Bach「Kantate Nr. 4, Sinfonia, Versus 1, Choral, Versus 7」　指揮：伴博資　ピアノ：川上路子
中島晴子作曲　混声「彼岸花」　女声「少女の髪」「雨の日のソネット」　男声「旅―山頭火―」　指揮：福井良太郎　ピアノ：川上路子
J. Brahms「愛のワルツ集」「新・愛のワルツ集」より　指揮：池田龍亮　ピアノ：川上路子／木村育子
W. A. Mozart「Mozart 小品集」　指揮：筑紫武晴　弦楽四重奏：アンサンブル・シェーネ　オルガン：湯浅照子

◆ 第4回定期演奏会　1992. 7. 5　芝ＡＢＣホール

F. Schubert「HirTen.chor, Die Forelle, Ständchen, Gott im Ungewitter, Gebet」　指揮：伴博資　ピアノ：斎藤敦子
さわみどり作詞／中島はる作曲「イリス」(委嘱作品)　指揮：福井良太郎　ピアノ：斎藤敦子
ミュージカル「My Fair Lady」より　編曲／指揮:池田龍亮　ピアノ：斎藤敦子

◆ 第5回定期演奏会　1993. 11. 13　芝ＡＢＣホール

A. Bruckner「Kleine Kirchenmusikwerke」より　指揮：日髙好男　トロンボーン：堀さゆり／松沼俊彦／奥村晃　オルガン：斎藤敦子
新川和江作詞／中島はる作曲「夢のうちそと」　指揮：福井良太郎　ピアノ：斎藤敦子
ミュージカル「The Fantasticks」より　編曲／指揮：池田龍亮　ピアノ：斎藤敦子　キーボード：石塚真美
パーカッション：佐倉一樹　ナレーション：内田龍磨

◆ 第6回定期演奏会　1995. 5. 20　芝ＡＢＣホール

J. G. Rheinberger「Abendlied」,「Dextera Domini」,「Stabat Mater」　指揮：池田龍亮　オルガン：安次嶺景子
Zolta KODÁLY「ºHegyi Éjszakak」,「ºMátrai Képek(マトラの風景)」　指揮：筑紫武晴　オルガン：安次嶺景子
谷川俊太郎作詞／高嶋みどり作曲「愛のプロローグ」　指揮：日髙好男　ピアノ：安次嶺景子

◆ 第7回定期演奏会　1996. 11. 16　芝ＡＢＣホール

小林秀雄作曲「九州民謡によるコンポジション」　指揮：日髙好男　ピアノ：安次嶺景子
峯 陽作詞／中島はる作曲「タンポポの道―生命に寄せる四楽章―」(委嘱作品)　指揮：池田龍亮　ピアノ：安次嶺景子
Gabriel Fauré「Requiem」op.48　指揮：福井良太郎　オルガン：安次嶺景子

◆ 第8回定期演奏会　1998. 6. 7　きゅりあん大ホール

ミュージカル「My Fair Lady」より　編曲／指揮：池田龍亮　ピアノ：安次嶺景子
峯 陽訳・詞／中島はる作曲「萬葉・酒の歌／萬葉・愛の歌」　指揮：福井良太郎　ピアノ：安次嶺景子
F. Schubert「ミサ曲第 1 番ヘ長調」D 105　指揮：日髙好男　オーケストラ：グローバル・フィルハーモニック・オーケストラ　オルガン：安次嶺景子

◆ 第9回定期演奏会　1999. 10. 2　きゅりあん大ホール

源田俊一郎編曲「ふるさとの四季」　指揮：市川昭　ピアノ：木曽田裕子
福永陽一郎編　男声合唱「ロシア民謡集」　指揮：伴博資　ピアノ：木曽田裕子
Benjamin BritTen.　女声合唱「キャロルの祭典」　指揮：筑紫武晴　ハープ：小林聡美
John Rutter「Requiem」　指揮：日髙好男　Sop.：斎藤恭子　ハープ：小林聡美　オルガン：八尋美代子
オーケストラ：グローバル・フィルハーモニック・オーケストラ・アンサンブル

◆ Early Summer Concert　2000. 6. 3　朝日生命ホール

峯 陽訳・詞／中島はる作曲　男声合唱「萬葉・酒の歌」　指揮：福井良太郎　ピアノ：安次嶺景子
佐とう暢宏編曲「初夏の夜の夢」　賛助出演：慶應義塾大学混声合唱団楽友会　指揮：池田祐一郎
立原道造作詞／小林秀雄作曲　混声合唱組曲「優しき歌」　指揮：日髙好男
Gabriel Fauré「Requiem」op.48　指揮：藤井宏樹　オルガン：大竹久美　Sop.：斎藤恭子　Bar.：今村雅彦

◆ 慶應義塾楽友会50周年記念演奏会　2001. 3. 3　サントリーホール

林 光編曲「日本抒情歌曲集」より　指揮＆ピアノ：林 光
Haydn「天地創造」より30番　指揮：岡田忠彦　ピアノ：林 光　Sop.：村瀬和子　Bar.：島田孝克
小林亜星作詞・作曲「青春讃歌」　指揮：小林亜星　ピアノ：林 光
W. A. Mozart「Requiem」KV626　指揮：黒岩英臣　オーケストラ：東京交響楽団　オルガン：花井哲郎
Sop.：平松英子　Alt.：寺谷千枝子　Ten.：吉田浩之　Bas.：小鉄和広

◆ 20周年記念・第10回定期演奏会　2002. 6. 8　紀尾井ホール

さわみどり作詞／中島はる作曲「イリス」(委嘱作品)　指揮：福井良太郎　ピアノ：安次嶺景子
J. Brahms「Ein Deutsches Requiem」op.45　指揮：藤井宏樹　ピアノ：清水和音／若林顕　Sop.：西野薫　Bar.：今村雅彦

◆ 第11回定期演奏会　2003. 10. 11　きゅりあん大ホール

F. Mendelssohn B.「Sechs Lieder im Freien zu singen」op.41　指揮：福井良太郎
さわみどり作詞／中島はる作曲「きょうりゅうたちの地球」　指揮：福井良太郎　ピアノ：安次嶺景子
Javier Busto「宗教作品集」　指揮：藤井宏樹
三善晃構成・編曲「日本の四季」　指揮：藤井宏樹　ピアノ：奥浦博子・安次嶺景子　児童合唱：埼玉県春日部市立豊春中学校合唱部

◆ 第12回定期演奏会　2004. 10. 10　第一生命ホール

Josef Gabriel Rheinberger「CANTUS MISSAE　Missa in Es」op.109　指揮：藤井宏樹
岩河三郎作詞構成・作曲　混声合唱組曲「富山に伝わる三つの民謡」　指揮：日高好男　ピアノ：安次嶺景子
矢澤宰作詩／萩原英彦作曲　混声合唱組曲「光る砂漠」　指揮：藤井宏樹　ピアノ：安次嶺景子

◆ 第13回定期演奏会　2005. 11. 26　第一生命ホール

J. S. Bach「Kantate Nr.131」　Ten.：岡本泰寛　Bas.：望月忠親
J. S. Bach「Kantate Nr.4」　指揮：藤井宏樹　オーケストラ：バッハ アンサンブル「樹」　オルガン：小林恵子
谷川俊太郎作詞／三善晃作曲「木とともに　人とともに」　指揮：藤井宏樹　ピアノ：安次嶺景子

◆ 第14回定期演奏会　2006. 11. 26　きゅりあん大ホール

俵万智 詩／林 光作曲　混声合唱とピアノのための「コメディア・インサラータ」　指揮：福井良太郎　ピアノ：安次嶺景子
W. A. Mozart「Requiem」KV626　指揮：山神健志　オーケストラ：合奏団「京浜東北線の世界」
Sop.：佐竹由美　Alt.：須永尚子　Ten.：小林一男　Bas.：宇野徹哉

◆ 第15回定期演奏会　2007. 10. 27　第一生命ホール

千原英喜作曲　混声合唱のための「おらしょ―カクレキリシタン 3 つの歌」(弦楽伴奏版・楽友三田会合唱団委嘱作品)
指揮：日高好男　弦楽アンサンブル：YAMATO String Ensemble　語り部：田谷淳
Luigi Cherubini「Requiem c-moll」　指揮：山神健志　オーケストラ：横浜シンフォニエッタ

◆ 第16回定期演奏会　2008. 11. 29　第一生命ホール

John Rutter編曲「ジョン・ラターの世界」　指揮：福井良太郎　ピアノ：安次嶺景子
信長貴富作曲　寺山修司の詩による 6 つのうた「思い出すために」　指揮：山神健志　ピアノ：安次嶺景子
Charles F. Gounod「荘厳ミサ 4 番(コラール・ミサ)」　指揮：山神健志　オルガン：奥山初枝　先唱：福井良太郎

◆ 第17回定期演奏会　2009. 11.　7　第一生命ホール

良寛・貞心尼詩／千原英喜作曲　混声合唱とピアノのための「良寛相聞」　指揮：ひだかよしお　ピアノ：奥山初枝
F. P. Schubert「ミサ曲第 6 番変ホ長調」D 950　指揮：山神健志　オーケストラ：横浜シンフォニエッタ
Sop.：坂井田真実子　Alt.：岩田真奈　Ten. I：与儀功　Ten. II：高柳圭　Bas.：押川浩士

◆ 第18回定期演奏会　2010. 11. 23　第一生命ホール

信長貴富編曲　混声合唱とピアノのための「近代日本名歌抄」　指揮：山神健志　ピアノ：安次嶺景子
J. Brahms　ワルツ集「愛の歌」全18曲　指揮：池田龍亮　ピアノ：安次嶺景子／服部真由子
J. Haydn「ミサ曲第 7 番ハ長調(パウケン・メッセ)」　指揮：山神健志　ピアノ：安次嶺景子
Sop.：名倉亜矢子　Counterten.：望月寛之　Ten.：及川豊　Bas.：小田川哲也

◆ 第19回定期演奏会　2011. 11.　3　第一生命ホール

「ドイツ・オペラ合唱曲集」（ワーグナー「タンホイザー」より「大行進曲と合唱」「巡礼の合唱」、
「ローエングリン」より「婚礼の合唱」、フロトー「マルタ」より「農民たちの合唱」）指揮：山神健志　ピアノ：安次嶺景子
高野喜久雄作詩／髙田三郎作曲　混声合唱組曲「水のいのち」　指揮：浜橋敬一　ピアノ：安次嶺景子
W. A. Mozart「ミサ曲ハ長調(戴冠ミサ)」KV317　指揮：山神健志　オルガン：山口綾規
Sop.：坂井田真実子　Alt.：岩田真奈　Ten.：中嶋克彦　Bas.：押川浩士

◆ 第20回定期演奏会　2012. 11. 18　すみだトリフォニーホール（大ホール）

林 望作詩／上田真樹作曲　混声合唱とピアノのための組曲「鎮魂の賦」　指揮：日高好男　ピアノ：安次嶺景子
J. Brahms「Ein Deutsches Requiem」op.45　指揮：山神健志　オーケストラ：健友会管弦楽団
Sop.：坂井田真実子　Bar.：成田眞　合唱参加：慶應義塾大学混声合唱団楽友会 有志

◆ 第21回定期演奏会　2013. 11. 17　第一生命ホール

ミュージカル「My Fair Lady」より（編曲：池田龍亮、小穴雄一）　指揮：池田龍亮　Sop.：名倉亜矢子　伴奏：慶應義塾マンドリンクラブ三田会
星野富弘作詩／新実徳英作曲　混声合唱とピアノのための「花に寄せて」　指揮：山神健志　ピアノ：安次嶺景子
J. S. Bach「小ミサ　ヘ長調」BWV233　指揮：山神健志　オーケストラ：オラトリオ・シンフォニカ JAPAN　オルガン：安次嶺景子
Sop.：名倉亜矢子　Alt.：谷地畝晶子　Bas.：藤井大輔

◆ 第22回定期演奏会　2014. 11.　3　第一生命ホール

J. Brahms「ドイツ民謡集」より、「ネーニエ」op.82　指揮：浜橋敬一　ピアノ：藤田まり子
Bob Chilcott編曲「日本の歌による 5 つの合唱曲『Furusato 故郷』」　指揮：山神健志　ピアノ：藤田まり子
Charles. F. Gounod「聖チェチーリアのための荘厳ミサ」　指揮：山神健志　オーケストラ：東京フォルトゥーナ室内管弦楽団　ピアノ：藤田まり子
Sop.：園田直美　Ten.：三浦大喜　Bas.：押川浩士

◆ 第23回定期演奏会　2015. 11.　3　第一生命ホール

小林亜星作詞・作曲「青春讃歌」(委嘱初演40周年記念演奏)　指揮：小林亜星　ピアノ：藤田まり子　オーケストラ：東京フォルトゥーナ室内管弦楽団
John Rutter「アンセム集」より　指揮：山神健志　ピアノ：藤田まり子
千原英喜作曲　混声合唱のための「おらしょ　カクレキリシタン 3 つの歌」　指揮：日高好男　弦楽五重奏：クィンテット・グラーツィア　ナレーション：佐藤惠
Gabriel Fauré「Requiem」op.48　指揮：山神健志　オーケストラ：東京フォルトゥーナ室内管弦楽団　オルガン：大竹くみ
Sop.：坂井田真実子　Bar.：藤井大輔

◆ 第24回定期演奏会　2016. 11.　6　第一生命ホール

F. Mendelssohn B.「Lauda Sion」op.73　指揮：山神健志　弦楽伴奏：東京フォルトゥーナ室内管弦楽団　オルガン：大竹くみ
Sop.：藤崎美苗　Alt.：谷地畝晶子　Ten.：石川洋人　Bas.：藤井大輔
武満 徹　混声合唱のための「うた」シリーズより　指揮：池田龍亮　ピアノ：田中理恵
J. S. Bach「カンタータ第4番」BWV4　指揮：山神健志　弦楽伴奏：東京フォルトゥーナ室内管弦楽団　オルガン：大竹くみ
Sop.：藤崎美苗　Alt.：谷地畝晶子　Ten.：石川洋人　Bas.：藤井大輔

◆ 第25回定期演奏会　2017. 11. 12　第一生命ホール

「THE STUDENT PRINCE」―学生王子メドレー―（編曲／谷口佳子）　指揮：池田龍亮　ピアノ：田中理恵　フルート：丸田悠太

小林亜星作詞・作曲／信長貴富編曲　混声合唱組曲「街」（楽友三田会合唱団委嘱作品　初演）　指揮：福井良太郎　ピアノ：田中理恵

W. A. Mozart「Vesperae solennes de confessore（証聖者の荘厳晩課）」KV339

指揮：山神健志　オーケストラ：東京フォルトゥーナ室内管弦楽団　オルガン：大竹くみ

Sop.：藤崎美苗　Alt.：高橋ちはる　Ten.：石川洋人　Bas.：藤井大輔

◆ 第26回定期演奏会　2018. 11. 11　第一生命ホール

信長貴富作曲　混声合唱とピアノのための「くちびるに歌を」　指揮：谷口明彦　ピアノ：田中理恵

W. A. Mozart「Requiem」KV626　指揮：黒岩英臣　オーケストラ：東京フォルトゥーナ室内管弦楽団

Sop.：藤崎美苗　Alt.：曽禰愛子　Ten.：松原友　Bas.：藤井大輔

◆ 第27回定期演奏会　2019. 11. 10　第一生命ホール

G. F. Handel作曲「MESSIAH」HWV56　指揮：黒岩英臣　オーケストラ：東京フォルトゥーナ室内管弦楽団

Sop.：藤崎美苗　Alt.：谷地畝晶子　Ten.：藤井雄介　Bas.：藤井大輔

新型コロナウイルスの感染拡大により演奏会を延期

◆ 第28回定期演奏会　2022. 9. 26　ティアラこうとう大ホール

Antonín DVOŘÁK「STABAT MATER」　指揮：黒岩英臣　オーケストラ：東京フォルトゥーナ室内管弦楽団

Sop.：望月万里亜　Alt.：布施奈緒子　Ten.：藤井雄介　Bas.：山本悠尋

◆ 第29回定期演奏会　2023. 6. 11　第一生命ホール

【小林亜星さんを偲んで】小林亜星作詞・作曲「青春讃歌」、

亜星さんのコマソンメドレー「どこまでも行こう」（編曲／信長貴富　MMC委嘱作品　初演）　指揮：谷口明彦　ピアノ：田中理恵

小林亜星作詞・作曲／信長貴富編曲　混声合唱組曲「街」　指揮：池田龍亮　ピアノ：田中理恵

John Rutter作曲「MAGNIFICAT」　指揮：谷口明彦　Sop.：鷲尾麻衣　ピアノ：田中理恵　パーカッション：梅津千恵子

◆ 第30回定期演奏会　2024. 6. 16　第一生命ホール

野呂 昶作詩／千原英喜作曲　混声合唱とピアノのための組曲「みやこわすれ」　指揮：谷口明彦　ピアノ：田中理恵

「Broadway Golden Days Hit Parades」（ミュージカル「サウンド・オブ・ミュージック」、

「ウエスト・サイド・ストーリー」、「マイ・フェア・レディ」より）

指揮：池田龍亮　伴奏：慶應義塾マンドリンクラブ三田会　ピアノ：田中理恵　Sop.：鷲尾麻衣

◆ 慶應義塾楽友会 70周年記念演奏会　2025. 2. 24　サントリーホール

W.A.Mozart「Requiem」K. 626　指揮：坂入健司郎　オーケストラ：東京フォルトゥーナ室内管弦楽団　オルガン：米沢陽子

Sop.：砂田愛梨　M-Sop.：山下裕賀　Ten.：宮里直樹　Bar.：小林昭裕

◆ 第1回～3回カジュアルコンサート（1994. 6. 11、1995. 11. 11、1997. 6. 14）　紀尾井町松田ホール

◆ 東京都合唱祭出演　第41回（'86. 6. 29）～第65回（'10. 7. 24）　ゆうぽうと簡易保険ホール

第66回は東日本大震災により開催中止、第67回('12. 7. 21)～第71回('16. 7. 9)　新宿文化センター　30年連続出場

◆ グループ・インテグラル出演　第16回（'89. 1. 29）、第17回（'90. 1. 14）、第19回（'92. 1. 19）、第20回（'93. 3. 20）

◆ めぐろ童謡コンサート出演　目黒区公会堂ホール／めぐろパーシモンホール

('98. 11. 29)、('00. 10. 1)、('01. 10. 14)、('02. 10. 13)、('03. 11. 24)、('04. 11. 28)、('05. 10. 23)、('07. 11. 24)、('09. 9. 27)

◆ 上野の森コーラスパーク出演　東京文化会館大ホール　('99. 11. 6)、('01. 9. 9)、('03. 8. 16)

◆ Internationales Chorkonzart　2007. 1. 6　ウィーン楽友協会大ホール

J. S. Bach「Kantate Nr.131」より　指揮：福井良太郎　ピアノ：安次嶺景子

岩河三郎作詞構成・作曲　混声合唱組曲「富山に伝わる三つの民謡」より　指揮：日髙好男　ピアノ：安次嶺景子

◆ 慶應讃歌グランドコンサート出演　2008. 10. 19　NHK ホール

◆ 慶應讃歌グランドコンサート2014出演　2014. 3. 1　サントリーホール

◆ 慶應義塾創立150年記念式典出演　2008. 11. 8　日吉キャンパス

◆ 慶應義塾マンドリンクラブ創部100年記念コンサート出演　2010. 6. 27　サントリーホール

服部 正作詞・作曲／竹本員子構成　ミュージカル・ファンタジー「人魚姫」

指揮：山口寛　演奏：KMC創部100年記念オーケストラ　Sop.：手島由紀子　Ten.：大澤一彰　語り手：紺野美沙子

◆ オール楽友会ファミリーコンサート出演　2011. 7. 2　日吉キャンパス　協生館 藤原洋記念ホール

高野喜久雄作詩／髙田三郎作曲　混声合唱組曲「水のいのち」より　指揮：浮橋敬一　ピアノ：藤田まり子

◆ 慶應義塾マンドリンクラブ三田会　第1回定期演奏会出演　2012. 8. 25　東京オペラシティ コンサートホール：タケミツメモリアル

F. レハール／小穴雄一編曲　喜歌劇「メリー・ウィドウ」ハイライト　指揮：小穴雄一　Sop.：手島由紀子　Ten.：大澤一彰

◆ 慶應義塾マンドリンクラブ三田会　第2回定期演奏会出演　2013. 8. 18　東京オペラシティ コンサートホール：タケミツメモリアル

F. ロウ／小穴雄一編曲　ミュージカル「マイ・フェア・レディ」ハイライト　指揮：小穴雄一　Sop.：手島由紀子　Ten.：大澤一彰

◆ 慶應義塾マンドリンクラブ三田会　第12回定期演奏会出演　2024. 8. 18　東京オペラシティ コンサートホール：タケミツメモリアル

「Broadway Golden Days Hit Parades」　指揮：小穴雄一　Sop.：鷲尾麻衣

楽友三田会合唱団（MMC）

Soprano	Alto	Tenor	Bass
岩崎　満里子	粟根　潤子	井尾　雄二	池田　進
大角　敏子	井尾　稔子	池田　龍亮	市村　正明
太田　美知子	稲川　三知子	大石　博國	井上　雅雄
加藤　友子	岡田　加代子	太田　誠	太田　武
工藤　光世	小倉　あきひ	小西　雅臣	沢田　高志
小西　みはる	金行　陽子	斎藤　成八郎	清水　康昭
勝田　三紀子	川西　万季	佐良土　雅文	勝田　茂之
杉　美代子	桐山　祥子	菅　泰雄	鈴木　淑博
杉原　洋子	草野　千代子	戸張　勁	谷口　明彦
鈴木　道子	桑野　晴子	中小路　修	辻井　渉
瀬戸　隆子	佐藤　節子	藤原　隆義	中濱　信生
田村　陽子	佐良土　美恵子	八ツ井　光二	舟山　幸夫
冨田　陽子	下田　崇子		
林　みつえ	永井　紀子		
平尾　慶子	日髙　啓子		
増山　綾子	福井　美穂子		
水野　宏美	吉岡　清美		
森脇　惠子			
安室　順子			
八ツ井　恭子			
吉武　優子			

第32回MMC定期演奏会のお知らせ

2026年11月22日(日)午後／第一生命ホール

楽友三田会合唱団　ホームページ　http://www.keiogakuyukai.com/MMC/index.htm

(有)梅沢印刷所